

問1 Kさんは、地理の学習について次のレポートを作成した。これについて、あとの各問いに答えなさい。略地図中の緯線は赤道から、経線は本初子午線からそれぞれ等間隔に引いたものである。

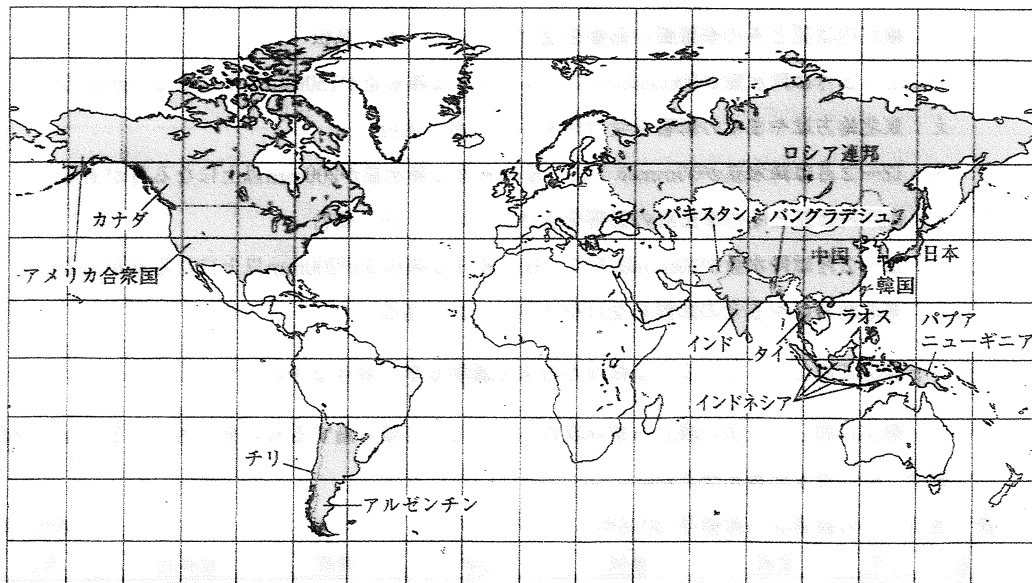
レポート

国境には、山脈や河川などの自然の障壁に沿って設けられたものや、経線・緯線に沿って設けられたもの、民族や宗教などの文化の違いで設けられたものなどがあります。私は、国境の基準と、その国境の基準で隔てられている国々を表1にまとめ、その位置を略地図に示しました。

表1

国境のおもな基準	国境のおもな基準で隔てられている国々
山脈	チリとアルゼンチン
①河川	タイとラオス
海洋	日本とロシア連邦、中国、韓国
緯線	アメリカ合衆国とカナダ
経線	②インドネシアとパプアニューギニア
文化	インドとパキスタン、バングラデシュ

略地図



1 表1中の国境の基準について

日本は、すべての国境が海洋上に引かれています。たとえば、日本の北の端の国境線は、島とウルップ島との間の海洋上に引かれています。

2 表1・略地図中の国について

(1) 自然 カナダとパプアニューギニアとでは、首都の年間の平均気温は、カナダの方が低くなっています。そのおもな理由は、からです。

(2) 産業 チリや中国、アメリカ合衆国では、③銅鉱の産出がさかんです。次の表2は、2015年における銅鉱の産出量上位6か国の産出量と、世界計の推移を示したものです。

表 2

(産出量の単位：万トン)

	1990年	2000年	2010年	2015年
チリ	159	460	542	576
中国	29	61	120	171
ペルー	34	55	125	170
アメリカ合衆国	158	144	111	138
コンゴ民主共和国	36	2	43	102
オーストラリア	33	83	87	97
世界計	895	1,330	1,610	1,910

注：世界計にはその他の国々の産出量を含む

('世界国勢図会2020/21年版')をもとに作成)

- (ア) レポート中の「あ」にあてはまる島の名称X、Yと、その島についての説明文a、bの組み合わせとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

島の名称	X 沖ノ島	Y 択捉
説 明 文	a ロシア連邦によって不法に占拠されている。 b 韓国によって不法に占拠されている。	

1. Xとa 2. Xとb 3. Yとa 4. Yとb

- (イ) レポート中の「い」にあてはまるものとして最も適するものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1. 緯度が高い場所ほど、太陽から受け取る熱の量が多い
2. 緯度が高い場所ほど、太陽から受け取る熱の量が少ない
3. 標高が高い場所ほど、太陽との距離が近くなる
4. 標高が低い場所ほど、太陽との距離が遠くなる

- (ウ) ——線①に関して、タイとラオスの国境の基準となっている河川の名称をカタカナ3字で書きなさい。

- (エ) ——線②に関して、次の文a～dのうち、インドネシアの特徴について説明したものの組み合わせとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- a 国土面積も人口も世界の上位5位以内である。
- b 国土が南半球と北半球にまたがっている。
- c アジア州のうち、南アジアに属する。
- d 植民地時代に開かれたプランテーションで、油やしなどを栽培している。

1. a、c 2. a、d 3. b、c 4. b、d

- (オ) ——線③に関して、表2から読み取れることについて説明した次の文X、Yの正誤の組み合わせとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- X 1990年と比べて2015年の銅鉱の産出量は、世界計が2倍以上、チリが3倍以上に増えた。
Y 表2中の6か国の銅鉱の産出量は、いずれも1990年よりも2000年、2000年よりも2010年、2010年よりも2015年の方が多くなっている。

1. X：正 Y：正 2. X：正 Y：誤 3. X：誤 Y：正 4. X：誤 Y：誤

問2 Kさんは、地理の学習について次のレポートⅠ、レポートⅡを作成した。これらについて、あとの各問いに答えなさい。

レポートⅠ：中国・四国地方の地域区分と交通

中国・四国地方は、日本海側の山陰、太平洋側の南四国、その間の瀬戸内に区分されます。瀬戸内には鉄道と高速道路を備えた「あ」をはじめとする連絡橋が建設されており、連絡橋の開通後は、四国と本州の間で、「い」が増えました。

地形図1は昭和時代初期の、地形図2は現在の瀬戸内(広島県大竹市)を示したもので、二つの地形図は同じ地域を示しています。私は、①二つの地形図に示された地域でどのような変化があったかについて考察しました。

地形図1



(「2万5千分の1の地形図 大日本帝国陸地測量部作成(昭和5年発行)」)

地形図2



(「2万5千分の1の地形図 国土地理院作成(平成30年発行)」)

レポートⅡ：中国・四国地方と東北地方の比較

- 1 自然環境について ②二つの地方は、離れており、気温と降水量は異なっています。
- 2 都市について 中国・四国地方の広島市と、東北地方の仙台市は、ともに地方中枢都市であり、また、③政府によって指定を受けた、人口50万人以上の都市です。
- 3 工業について ④どちらの地方も、機械工業が中心になっています。

(ア) レポートⅠ中の「あ」「い」にあてはまるものの組み合わせとして最も適するものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- | | |
|-------------|---------------------|
| 1. あ：瀬戸大橋 | い：一定の時間内で移動できる距離 |
| 2. あ：瀬戸大橋 | い：一定の距離を移動するのにかかる時間 |
| 3. あ：明石海峡大橋 | い：一定の時間内で移動できる距離 |
| 4. あ：明石海峡大橋 | い：一定の距離を移動するのにかかる時間 |

(イ) ——線①に関して、地形図1、地形図2から読み取れることについて説明した次の文X、Yの正誤の組み合わせとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

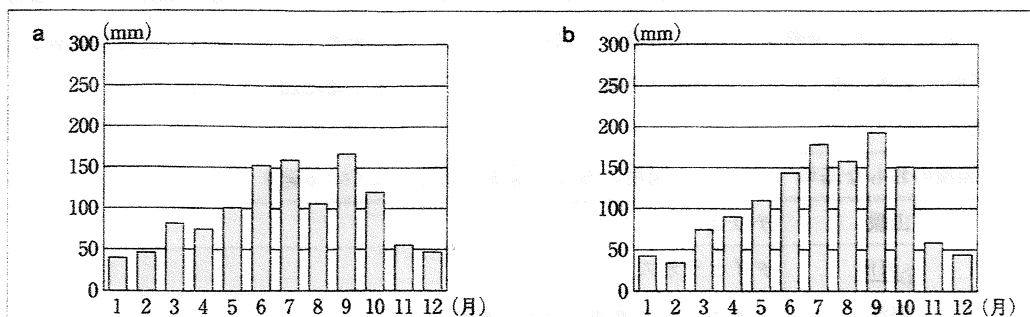
X 海岸部の土地が拡張され、新たに鉄道が敷かれた。

Y 丘陵地の一部をけずりとして造成した平地に、学校がつけられた。

- | | | | |
|------------|------------|------------|------------|
| 1. X：正 Y：正 | 2. X：正 Y：誤 | 3. X：誤 Y：正 | 4. X：誤 Y：誤 |
|------------|------------|------------|------------|

- (ウ) ———線②に関して、次の a、b のグラフは、高松市、仙台市のいずれかにおける降水量をそれぞれ表したものである。このことについて説明したあとの文中の「う」～「お」にあてはまるものの組み合わせとして最も適するものを、1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

グラフ



(気象庁ウェブサイト掲載資料(1991～2020)をもとに作成)

a のグラフから「う」こと、また、b よりも年間降水量が少ないことが読み取れます。これらのことと、「え」という知識をあわせて考えると、a のグラフは「お」市の降水量を表したものであると判断することができます。

- う：12～2月は降水量が50mm以下に、6～8月は降水量が150mm以下になる月がある
え：瀬戸内は夏と冬の季節風の影響を受けにくい お：高松
 - う：12～2月は降水量が50mm以下に、6～8月は降水量が150mm以下になる月がある
え：東北地方はやませの影響を受けやすい お：仙台
 - う：12～2月は降水量が50mm以下に、6～8月は降水量が200mm以上になる月がある
え：瀬戸内は夏と冬の季節風の影響を受けにくい お：仙台
 - う：12～2月は降水量が50mm以下に、6～8月は降水量が200mm以上になる月がある
え：東北地方はやませの影響を受けやすい お：高松
- (エ) ———線③に関して、このような都市の名称を漢字6字で書きなさい。
- (オ) ———線④に関して、次の表から読み取れることとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

表 地方ごとの製造品出荷額等(2018年)

(単位：億円)

地 方	金属	機械	化学	繊維	食料品	合計
東 北	21,179	87,783	16,483	2,084	27,328	186,196
関 東	112,377	341,702	152,012	3,795	119,433	846,941
中 部	101,298	588,827	62,803	12,587	73,949	956,951
中国・四国	65,435	130,382	80,824	7,242	29,991	366,553
そ の 他	146,738	383,445	135,913	12,115	144,927	961,453
全 国	447,027	1,532,139	448,035	37,823	395,628	3,318,094

注：「合計」は、その他の工業の製造品出荷額等を含む。

(2019年工業統計表をもとに作成)

- 「中国・四国」の「合計」は、「全国」の「合計」の1割を上回っている。
- 「化学」の「全国」は、「全国」の「合計」の1割を下回っている。
- 「中国・四国」の「化学」は、「中国・四国」の工業の中で3番目に出荷額が多い。
- 「中部」の「金属」は、他の地方における「金属」と比べたとき、最も出荷額が多い。